

日本建築学会論文集の完全電子化（2021年度からの冊子廃止）等に伴う規程類、登載料等の変更について

学術レビュー委員会、論文集委員会では、論文集の効果的な情報発信について検討を重ねた結果、2021年3月号を最後に冊子版を廃止し、2021年4月号から電子出版（オンライン刊行即日無料公開）とすることにしました。

これにより登載料は、2021年4月号掲載分から本文が4～6頁6万円（税別）、7～11頁8.5万円（税別）となります。ただし、要約1頁はこれまで通り本文に含まず、図版類のカラー掲載料は無料です。また、その他の項目も以下に示すような応募規程、関係規程類の変更や追加がございますのでご確認ください。

皆様のご理解とご協力をお願いします。

2019年5月 学術レビュー委員会

<主な変更について>

【1】2019年6月11日からの変更点

(1) 二重投稿および著作権に関する項目の追加

- ・応募規程 1. 内容 / 2. 既発表のものでも応募できる範囲 / 10. 著作権 (4)

(2) レビュー論文 (カテゴリーⅣ) の追加

- ・応募規程 1. 内容 (1) b) / 8. 論文の採否 (2) b. b-4)
- ・査読要領 4. 論文集への採否の判定方法 (1) a. a-2)

(3) 標題の表記方法の変更

- ・応募規程 3. 標題
- ・和文論文テンプレートの説明

(4) 著者資格の明確化

- ・応募規程 4. 著者の資格

(5) 修正原稿 (R1, R2) 投稿時の著者変更の受付

- ・応募規程 5. 著者の追加・削除・順番変更
- ・査読要領 9. その他 (2)
- ・著者変更申請書

(6) 他の査読者意見の開示 (回答書の共有)

- ・回答書テンプレート
- ・回答書見本

(7) 英文校閲の推奨

- ・応募規程 6. 原稿 (3)
- ・執筆要領 11. その他 (1)

(8) 図表類英語表記の例外

- ・執筆要領 7. 本文 (3) a) ④

(9) 訂正記事および取り下げ記事の追加

- ・応募規程 14. 掲載済み論文、質疑討論の訂正・取り下げ
- ・執筆要領 2. 原稿の書式・規格と論文等の構成 / 10. 電子形態による公開 (他の項目についても原則執筆要領に準ずる)
- ・手引き 1. 割り付け (レイアウト) とテンプレート / 5. 訂正記事の書き方 (テンプレートC) (他の項目についても原則手引きに準ずる)
- ・査読要領 8. 質疑討論寄稿および掲載後の訂正・取り下げ申請書類の取り扱い (3)
- ・論文集の訂正、取り下げに関する運用要領
- ・訂正申請書 / 訂正記事テンプレート
- ・取り下げ申請書

【2】2021年4月号からの変更点 (※2020年8月10日24時締切の8月受付分の新規応募原稿から)

(10) 冊子廃止 (完全オンラインジャーナル化) に伴う [頁数上限の変更], [登載料の変更], [カラー掲載料の無料化], [紙面投稿・レイアウト原稿・別刷の廃止]

＜完全電子化に伴う主な変更点＞

	現行 (2021年3月号掲載分まで)	変更後 (2021年4月号掲載分から)																																		
刊行の形態	冊子あり、別刷あり 電子版あり	冊子・別刷は廃止 電子版のみ刊行																																		
原稿の形態	原稿（本文・要約を含む）は版下原稿を原則とするが、レイアウト原稿も受け付ける。 【注1】	原稿は「版下原稿 PDF」とする。																																		
投稿方法	電子投稿： 毎月10日24時必着 紙面投稿： 毎月10日17時必着。ただし、10日が土日祝の場合、直前の平日17:00必着 【注1】	電子投稿： 毎月10日24時必着																																		
原稿本文の 頁数	本文は、10頁以内	本文は、4頁以上11頁以内 【注2】																																		
※本文頁数に要約1頁は含まない。																																				
登載料	本文	<table border="0"> <tr> <td>6頁以内</td> <td>版下原稿</td> <td>2万円</td> <td rowspan="11">版下原稿のみ (レイアウト原稿は廃止) 4～6頁 6万円 7～11頁 8.5万円 (すべて税別 【注3】)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>レイアウト原稿</td> <td>4万円</td> </tr> <tr> <td>7頁</td> <td>版下原稿</td> <td>4万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>レイアウト原稿</td> <td>6万円</td> </tr> <tr> <td>8頁</td> <td>版下原稿</td> <td>6万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>レイアウト原稿</td> <td>8万円</td> </tr> <tr> <td>9頁</td> <td>版下原稿</td> <td>9.5万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>レイアウト原稿</td> <td>11.5万円</td> </tr> <tr> <td>10頁</td> <td>版下原稿</td> <td>13万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>レイアウト原稿</td> <td>15万円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(すべて税込)</td> <td></td> </tr> </table>	6頁以内	版下原稿	2万円	版下原稿のみ (レイアウト原稿は廃止) 4～6頁 6万円 7～11頁 8.5万円 (すべて 税別 【注3】)		レイアウト原稿	4万円	7頁	版下原稿	4万円		レイアウト原稿	6万円	8頁	版下原稿	6万円		レイアウト原稿	8万円	9頁	版下原稿	9.5万円		レイアウト原稿	11.5万円	10頁	版下原稿	13万円		レイアウト原稿	15万円	(すべて税込)		
	6頁以内	版下原稿	2万円	版下原稿のみ (レイアウト原稿は廃止) 4～6頁 6万円 7～11頁 8.5万円 (すべて 税別 【注3】)																																
	レイアウト原稿	4万円																																		
7頁	版下原稿	4万円																																		
	レイアウト原稿	6万円																																		
8頁	版下原稿	6万円																																		
	レイアウト原稿	8万円																																		
9頁	版下原稿	9.5万円																																		
	レイアウト原稿	11.5万円																																		
10頁	版下原稿	13万円																																		
	レイアウト原稿	15万円																																		
(すべて税込)																																				
要約	1頁⇒現行も変更後も無料																																			
カラー掲載料	1頁17.1万円、2頁23万円、3-4頁28万円、5-10頁35万円（すべて税込）	無料 【注4】																																		
購読制度	冊子の年間予約購読費 ＜1系列購読＞ 正会員（個人）・準会員 1.2万円 ＜2系列購読＞ 正会員（個人）・準会員 1.26万円 ＜3系列（すべて）購読＞ 正会員（個人）・準会員 1.32万円 正会員（法人）・賛助会員 2.04万円 会員外 3.36万円 (すべて税込)	冊子購読制度の廃止																																		
電子版公開	冊子刊行から一年経過後に無料公開	電子版刊行即日に無料公開																																		

【注1】 応募から掲載までは平均約8か月となっております。そのため、レイアウト原稿および紙面の新規投稿の受付は2020年7月受付分（2020年7月10日24時締切）の新規応募原稿を以て終了させていただきます。

【注2】 2020年8月受付分（2020年8月10日24時締切）の新規応募原稿からは、本文最大11頁（要約1頁は本文に含まない）となります。2020年7月受付分（2020年7月10日24時締切）の新規応募原稿までは本文最大10頁（要約1頁は本文に含まない）までしか受け付けませんのでご注意ください。

【注3】 論文集の登載料等は掲載を以て請求しており、2021年4月号掲載分から適用されます。基本的に2020年8月受付分（2020年8月10日24時締切）の新規応募原稿の投稿から対象となります。それ以前に受け付けた新規応募原稿についても審査の遅れ等により、2021年4月号以降に掲載となることがあります。その場合は変更後の登載料が適用されます。

【注4】 無料でカラー掲載や本文11頁での掲載を希望される場合は、2020年8月受付分（8月10日24時締切）以降に新規応募原稿をご投稿ください。2020年8月受付分以降の場合、その原稿の審査がたとえ早く終了しても2021年4月号以降の掲載となります。

【投稿】

2020年 7月10日24時締切の
7月受付分まで

8月10日24時締切の
8月受付分から

2021年3月号までに掲載予定

2021年4月号以降に掲載

★冊子版の刊行あり

★オンライン版のみ刊行

☆図表類のカラー掲載は有料

☆図表類の**カラー掲載は無料**

☆本文最大**10頁**まで可

☆本文最大**11頁**まで可

☆レイアウト原稿、紙面投稿、別刷の受付可

注：レイアウト原稿、紙面投稿、別刷の受付不可

*2020年7月受付分までは、原則2021年3月号までの掲載となります。

・審査の遅延等により2021年4月号以降の掲載となることがあります。その場合の登載料は変更後の料金が適用されます。ただし、投稿時にレイアウト原稿の申込をされていた場合に限り、+2万円（税込）で対応します。2021年4月号以降の掲載となった場合には、冊子や別刷の頒布、白黒からカラーへの変更はできませんので、あらかじめご了承ください。

*2020年8月受付分からは、原則2021年4月号以降の掲載となります。

【掲載】

2021年

3月号まで

4月号から

●原則2020年7月10日24時締切の7月受付分までの新規応募原稿を掲載（ただし、審査が遅延したものは4月号以降の掲載）

●原則2020年8月10日24時締切の8月受付分からの新規応募原稿を掲載

★冊子版の刊行あり

★オンライン版のみ刊行

☆図表類のカラー掲載は有料

☆図表類の**カラー掲載は無料**

☆本文最大**10頁**まで可

☆本文最大**11頁**まで可

☆レイアウト原稿、紙面投稿、別刷の受付可

注：レイアウト原稿、紙面投稿、別刷の受付不可

※オンライン版は冊子刊行から1年経過後に無料公開（ただし、2021年4月号刊行（4/30）と同時に刊行1年以内の過去分についても一挙無料公開）

※オンライン版は刊行即日（毎月30日刊行）に無料で公開（2021年4月30日に2021年4月号刊行予定）

以下、[規程名](#)をクリックいただきますと、最新版の規程をご確認いただけます。

※規程内の**赤字**は今回変更（追加）された箇所になります。

[日本建築学会構造系、計画系ならびに環境系論文集応募規程](#)

<[規程変更前後の比較表](#)>（←クリックしてリンク先の比較表をご覧ください）

（改正 2019年5月10日理事会決定 2019年6月11日実施）

[日本建築学会構造系、計画系ならびに環境系論文集執筆要領](#)

（改正 2019年5月24日論文集委員会決定 2019年6月11日実施）

[版下原稿執筆の手引き](#)

（改正 2019年5月24日論文集委員会決定 2019年6月11日実施）

[論文集応募原稿査読要領](#)

（改正 2019年5月24日論文集委員会決定 2019年6月11日実施）

[論文集の訂正、取り下げに関する運用要領](#)

（改正 2019年5月24日論文集委員会決定 2019年6月11日実施）

日本建築学会論文集の登載料について

●新登載料

2021年4月号登載分から以下の登載料に変更されます。

内 容	頁数		版下原稿
論 文	本文	4～6頁	60,000円 (税別)
		7～11頁	85,000円 (税別)
	要約 (最終頁)	1頁	無 料
討 論 回 答	2頁以内		無 料
			無 料

注1) 論文は本文(11頁以内：標題から注・参考文献まで)と要約(1頁：最終頁の英文/和文要約)で構成。要約(必須)は論文の末尾に改頁して付けてください。

注2) 冊子および別刷の印刷はありません。電子ジャーナルとして下記J-STAGEのサイト上で発行され、刊行即日に無料公開となります。

注3) 原稿は執筆要領を参照のうえ版下原稿PDFを投稿してください。

注4) 図表類のカラー掲載料は無料。ただし、新規投稿後、原稿のカラー状態を変更することはできません。

○構造系論文集ホームページ <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/aijs/-char/ja/>

○計画系論文集ホームページ <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/aija/-char/ja/>

○環境系論文集ホームページ <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/aije/-char/ja/>

冊子廃止(完全オンラインジャーナル化)に関わる注意事項

1. 投稿者各位におかれましては、以下の注意事項をあらかじめ確認、了承のうえご投稿ください。

- ・2020年7月受付分(2020年7月10日24時締切)までの新規応募原稿は、審査を経て、基本的に2021年3月号までの掲載を予定しておりますが、審査の遅れ等により2021年4月号以降への掲載となることもあります。予めご了承ください。たとえ審査の遅れが理由であっても、2021年4月号以降に掲載の場合、登載料は新料金(上記の2021年4月号登載分からの料金参照)が適用され、冊子ならびに別刷の印刷は致しかねます。別刷を事前に申し込まれた場合でも自動的にキャンセル扱いとなります。
- ・掲載号の希望を申し出たり、希望掲載号を指定したりすることはできません。2021年4月号以降の掲載を希望される場合は、2020年7月受付分(2020年7月10日24時締切)までの新規投稿ではなく、2020年8月受付分(2020年8月10日24時締切)以降に新規応募原稿をご投稿ください。
- ・2021年4月号掲載分より頁数の上限が変更となり、最大本文11頁(要約1頁は本文に含まない)となりますが、2020年7月受付分(2020年7月10日24時締切)までの新規応募原稿の投稿については、本文10頁(要約1頁は本文に含まない)が最大です。本文11頁で原稿を作成される場合は、2020年8月受付分(2020年8月10日24時締切)以降に新規応募原稿をご投稿ください。

【カラーについて】

- ・2021年3月号までは冊子印刷があり、カラー掲載料が発生します。2020年7月受付分(2020年7月10日24時締切)までは、白黒印刷を希望される場合は必ず白黒原稿を、カラー印刷を希望される場合は必ずカラー原稿をご投稿ください。投稿後、審査の前後など途中で原稿のカラー状態を変更することはできません。また、2020年7月受付分(2020年7月10日24時締切)までは、カラー印刷を希望されていないのにカラー原稿を投稿された場合は不備原稿として原稿を受理できません。
- ・2020年7月受付分(2020年7月10日24時締切)までにカラー原稿(カラー掲載希望)で投稿され、審査の都合等で2021年4月号以降の掲載となった場合のカラー掲載料は発生しません。2020年7月受付分(2020年7月10日24時締切)までに白黒原稿で投稿され、審査の都合等で2021年4月号以降の掲載となった場合は白黒での掲載となります。
- ・カラー掲載料が無料となる2021年4月号以降の掲載を希望される場合は、2020年7月受付分(2020年7月10日

24 時締切) までではなく、2020 年 8 月受付分 (2020 年 8 月 10 日 24 時締切) 以降に新規応募原稿をご投稿ください。

【紙面投稿、レイアウト原稿】

- ・紙面投稿 (郵送での新規原稿投稿) の受付は 2020 年 7 月 10 日 17 時必着を以て終了いたします。それ以降に届いたものについては受け付けられませんので、ご注意ください。
- ・レイアウト原稿の受付は 2020 年 7 月受付分 (2020 年 7 月 10 日 24 時締切) を以て終了いたします。それ以降は版下原稿のみとなりますので、ご注意ください。ただし、2020 年 7 月受付分 (2020 年 7 月 10 日 24 時締切) までにレイアウト原稿希望で新規投稿いただいた場合、2021 年 4 月号以降の掲載となっても追加 2 万円 (税込) で対応いたします。

★2020 年 7 月 11 日以降の投稿について、投稿審査システムの更新を行う都合上、一定期間投稿できなくなる可能性がございます。その場合、本会 HP や投稿審査システム等で別途お知らせいたします。

2. 論文集予約購読者各位におかれましては、購読制度廃止に伴い、大会発表登録費の免除がなくなります。

- ・論文集は、2021 年 4 月号から電子出版 (オンライン刊行即日無料公開) への移行に伴い **論文集の予約購読は 2020 年度を以て終了し、大会学術講演会・建築デザイン発表会の発表登録費の免除は 2020 年度大会を以て廃止となります。2021 年度大会 (東海) よりすべての講演発表者および共同発表者 (連名者) は、発表登録費の納入が必要となります。**また、DVD 版大会梗概集と大会プログラムは、発表登録費を納入された方のみ送付いたしますので、大会発表をされない方は別途購入する必要があります。あらかじめご承知おきください。

FAQ よくある質問

【レビュー論文 (カテゴリーⅣ) の追加】

- Q1 レビュー論文は 2019 年 6 月 11 日から投稿可能ですか。
- A1 可能です。
- Q2 レビュー論文も頁数は最大 10 頁ですか。
- A2 2020 年 7 月受付分 (2020 年 7 月 10 日 24 時締切) までの新規投稿は、最大本文 10 頁 (要約 1 頁は本文に含まない) です。2020 年 8 月受付分 (2020 年 8 月 10 日 24 時締切) 以降の新規投稿で 2021 年 4 月号以降に掲載の場合は、最大本文 11 頁 (要約 1 頁は本文に含まない) までとなります。

【標題の表記方法の変更】

- Q1 主題のみでも問題ないですか。
- A1 主題のみで問題ございません。総主題・副題は必要な場合のみ、添えてください。
- Q2 総主題と主題は必ず「:」でつなげないといけいのでしょうか。
- A2 総主題か主題かを判別できるよう、必ず「:」はつけてください。
- Q3 連報を執筆していますが、すでに「その 2」まで掲載されています。「その 3」から今回の表記方法に変更しなければならいのでしょうか。
- A3 変更しなくても問題ございません。すでに先の編が掲載されている場合は、著者の希望を優先します。

【修正原稿 (R1, R2) 投稿時の著者変更の受付】

- Q1 著者変更申請は 2019 年 6 月 11 日から受け付けてもらえるのでしょうか。
- A1 受け付けます。
- Q2 採用通知に査読者からのコメントがあり、修正を行いました。最終原稿提出時にも著者変更は可能でしょうか。
- A2 できません。著者変更申請は、修正原稿投稿時のみ受け付けます。
- Q3 申請書に署名・押印欄がありますが、著者の何名かは他の地方や海外在住のため、署名・押印を集めるにはかなりの時間を要します。
- A3 署名・押印は個別にご郵送いただいて問題ございません。その場合、別々に送付する旨を論文集委員会 (ronbun@aij.or.jp) 宛にご連絡ください。海外在住の場合は郵便の不達等も考えられるため、電子データ化したファイルもご提供をお願いします。また、必ず論文 ID~理由は同じ内容にしてください。著者変更可否の審査は、全著者 (追加・削除対象者含む) の署名・押印が確認された段階で開始します。
- Q4 投稿後死去した共著者がいます。署名・押印はどうすればよいのでしょうか。
- A4 死去やご入院 (重病) 等の場合、理由記入欄にその旨を記載してください。不明な点があれば、後日論文集委員会より連絡します。

【他の査読者意見の開示（回答書の共有）】

- Q1 今まで回答書は査読者一人ひとりに別々のファイルを作成していましたが、2019年6月11日からは再査読の査読者が2名いた場合も回答書は1ファイルで提出するのでしょうか。
- A1 はい。2019年6月11日からは査読者が他の査読者の指摘内容による修正点を確認できるよう、回答書は1ファイルにまとめていただくこととなります。ただし、それぞれの査読は独立して行うこととしておりますので、他の査読者の意見や回答に対しての査読は行われません。
回答書の書き方は、「回答書テンプレート」「回答書見本」をご確認ください。
- Q2 回答書テンプレートはいつから適用となりますか。
- A2 2019年6月11日の提出分より適用となります。公開しているWord以外で作成しても問題ございませんが、テンプレートに沿われていない場合はお戻し対象となります。
※2019年6月は周知期間とし、テンプレートに沿っていなくても受け付けますが、査読者別に回答書ファイルを準備せず、回答書ファイルは必ず1つにまとめてください。
- Q3 回答書以外に、赤字等で修正点を示した原稿を提出することはできますか。
- A3 可能です。ただし、再査読を行う査読者が2名の場合、各々宛にファイルを作成するのではなく、ファイルは1つとし、両査読者宛の内容にして、さらに回答書に続けて1つのPDFに統合のうえ提出してください。

【図表類英語表記の例外】

- Q1 図表内がすべて日本語でも受け付けてもらえるのでしょうか。
- A1 事務局では受け付けます。ただし、委員会や査読者が英語化の方が適切であると判断した場合、返却となったり、査読コメントで指摘したりすることもあります。
- Q2 キャプションも日本語のみでいいですか。
- A2 不可です。キャプションは英語または英語（ローマ字）併記です。
- Q3 参考文献は対象外ですか。
- A3 参考文献は対象外です。必ず英語または英語（ローマ字）併記にしてください。

【訂正記事および取り下げ記事の追加】

- Q1 訂正・取り下げは2019年6月11日から申請可能ですか。
- A1 可能です。
- Q2 誤字脱字の訂正はできるのでしょうか。
- A2 訂正記事は今後の研究や調査に影響を与えるような重大な誤りが判明した場合を想定したものです。学術雑誌では一旦発行された記事の軽微な誤りは修正しないことが慣例となっています。
- Q3 訂正の場合、訂正記事が申請書類に含まれていますが、取り下げの場合、取り下げ記事の提出は不要なのでしょうか。
- A3 不要です。取り下げ記事は原則論文集委員会が作成します。
- Q4 申請書に署名・押印欄がありますが、著者の何名かは他の地方や海外在住のため、署名・押印を集めるにはかなりの時間を要します。
- A4 以下に案を記載します。
①代表著者が【論文】【訂正理由】を記入したWordファイル等を共著者へ提供。
②共著者は署名・押印次第、代表著者へ原本を郵送。
③代表著者は1人1枚ずつの書類を束ねて（例えば、5名著者がいれば5枚で1束）、その他必要書類とともに論文集委員会宛に郵送。また、郵送する書類はすべてPDF化し、別途メール（ronbun@aij.or.jp）で提出する。その際、共著者をCCに入れ、添付ファイルとして送付する。
※署名・押印を1枚にまとめずに進められるので、多少時間を削減できるかと思います。
- Q5 すでに死去した共著者がいます。署名・押印はどうすればよいのでしょうか。
- A5 死去やご入院（重体）等の場合、理由記入欄にその旨を記載してください。不明な点があれば、後日論文集委員会より連絡します。

【冊子廃止（完全オンラインジャーナル化）】

- Q1 2020年7月10日24時締切までに新規投稿した原稿ですが、2021年4月号に掲載となる旨通知がありました。2021年4月号からは、カラー掲載料が無料なので、全頁白黒PDF原稿を全頁カラーPDF原稿の掲載に変更してもいいですか。
- A1 できません。投稿後、審査の前後など、途中で原稿のカラー状態を変更することはできません。

Q2	2020年7月10日24時締切までに新規投稿した原稿ですが、2021年4月号に掲載となる旨通知がありました。冊子と別刷の印刷を特別に注文することはできますか。
A2	できません。2021年4月号以降の冊子ならびに別刷の印刷は致しかねます。
Q3	2021年4月号以降は登載料が変更になるので、どうしても2021年3月号までに掲載して欲しいのですが、3月号までの掲載を確約してもらえますか。
A3	掲載号の確約はできません。また審査の速度を調整する（早めたり遅らせる）ことはできません。
Q4	2020年8月に投稿、2021年4月号以降の掲載を予定し、PDFカラー原稿を準備しています。カラー掲載料は無料ですか。
A4	無料です。ただし、投稿後、審査の前後など途中で原稿のカラー状態を変更することはできません。また、審査が早く完了した場合も4月号掲載分として進めさせていただきます。
Q5	2020年8月に投稿、2021年4月号以降の掲載を予定し、原稿を準備しています。本文11頁でも問題ないでしょうか。
A5	問題ございません。ただし、審査が早く完了した場合でも4月号掲載分として進めさせていただきます。
Q6	2020年8月に新規投稿、2021年4月号以降の掲載を予定し、原稿を準備しています。2021年4月号以降の登載料はいくらでしょうか。
A6	本文が4～6頁60,000円（税別）、7～11頁85,000円（税別）となっております。
Q7	2020年8月以降に新規投稿した場合、2021年3月号以前に掲載されることはありますか。
A7	原則2021年4月号以降の掲載となります。
Q8	2020年7月10日24時締切までに新規投稿した論文ですが、修正原稿作成時に本文を11頁に変更することは可能でしょうか。
A8	できません。
Q9	2020年7月10日24時締切までにレイアウト原稿希望で投稿した原稿ですが、2021年4月号掲載の通知が届きました。レイアウト原稿にて対応してもらえるのでしょうか。
A9	対応します。2020年7月10日24時締切までにレイアウト原稿希望で投稿いただければ、2021年4月号以降の掲載となりましても、レイアウト原稿を作成します。ただし、レイアウト原稿代として追加の2万円（税込）を請求します。 （例：本文8頁論文の場合 8.5万円（税別）+2万円（税込））
Q10	2021年4月号以降への掲載を希望ですが、2020年7月10日24時までには投稿してもいいですか。
A10	できません。2021年4月号以降への掲載をご希望の場合は、2020年8月受付分（8月10日24時締切）以降に新規応募原稿を投稿してください。
Q11	2021年4月号以降は、どこで論文を見ることができますか。また、最新号はいつ頃公開されますか。
A11	J-STAGEにてご覧いただけます。 ○構造系論文集ホームページ https://www.jstage.jst.go.jp/browse/ai.js/-char/ja/ ○計画系論文集ホームページ https://www.jstage.jst.go.jp/browse/ai.ja/-char/ja/ ○環境系論文集ホームページ https://www.jstage.jst.go.jp/browse/ai.je/-char/ja/ また、最新号の公開は、毎月30日（ただし、2月に限り28日）となっております。
Q12	2021年4月号以降冊子が廃止となりますが、購読料や閲覧制限はありますか。
A12	ありません。すべて無料の刊行即日公開となります。

各種テンプレート等ダウンロード

- | | | |
|--------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------|
| ■ 和文論文テンプレート(Word) | □ 訂正記事テンプレート(Word) | ■ 訂正申請書(Word) |
| □ 和文論文テンプレートの説明(PDF) | ■ 回答書(Word) | □ 取り下げ申請書(Word) |
| ■ 英文論文テンプレート(Word) | □ 回答書見本(PDF) | ■ 著者変更申請書(Word) |

問合せ先

論文集委員会 係 Email: ronbun(at)aij.or.jp *(at)=@

[日本建築学会 TOP ページ](#)

[日本建築学会論文集応募原稿募集ページ](#)（[電子投稿](#)／[紙面投稿](#)）

[日本建築学会論文集投稿審査システム](#)